

「難治性肺 *Mycobacterium avium complex* 症に対するアミカシン吸入用懸濁液（アリケイス）の治療効果に関する後方視的検討」に関係する患者さま、ご家族の皆様へ

当院では「難治性肺 *Mycobacterium avium complex* (MAC) 症に対するアミカシン吸入用懸濁液の治療効果に関する後方視的検討」との研究を行っています。肺 MAC 症は肺非結核性抗酸菌症の大部分を占める疾患ですが、近年世界的に増加しつつあるにもかかわらず有効な治療薬が限られており治療法の開発が課題となっています。アミカシン吸入用懸濁液（商品名アリケイス）は特に難治性の肺 MAC 症に対して開発された薬剤で一部の症例に有効性が認められています。この調査は、当院でこの薬剤が使用された患者さまにおいて治療効果を調べ影響する要因について検討することを目的としており、今後の肺 MAC 症の治療法を検討するうえで有用と考えております。

[調査の対象となる患者さま]

2021年3月23日から2023年3月31日までに、当院で肺 MAC 症に対してアリケイスが開始された患者さまが対象となります。

[調査方法]

患者さまのカルテ等の記録をもとに調査いたします。本調査では、患者さまに新たなご負担をおかけすることはありません。

[患者さまのプライバシーに関して]

プライバシー・個人情報は厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外に出ることは決してありません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究代表者までお問い合わせください。また、この研究にカルテ情報を利用することをご了解頂けない場合も以下までご連絡ください。ただし研究結果が学会や学術雑誌で発表された後のご連絡には対応できませんのでご了解ください。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180

国立病院機構近畿中央呼吸器センター

臨床研究センター 感染症研究部

露口一成

TEL: 072-252-3021, FAX: 072-251-1372

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床試験審査委員会 (IRB) における厳重な審査・承認をうけて実施しています。